

電波時計 取扱説明書

(置時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

- お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保管して必要に応じてご覧ください。

もくじ

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください	2	
2. 電波時計について	3	
■電波時計とは	■標準電波とは	■標準電波の送信停止について
■海外でのご使用について	■電波の受信範囲について	
電波を受信しにくい環境		
3. 各部の名称と役割	4	
4. ご使用方法	5	
静電気による誤作動について		
設置について		
5. ソーラーによる発電と明るさテストについて	6	
■設置場所の条件	■明るさテストによる確認方法	
6. バックアップ電池の役割	7	
バックアップ電池の寿命	7	
バックアップ電池の交換手順	8	
7. 受信の流れとサーチ機能の使いかた	8	
8. 標準電波を受信できない場合	9	
手動での時刻合わせ		
9. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作	10	
10. お手入れについて	10	
11. 電池・製品の廃棄について	11	
12. おもな製品仕様	11	
保証書	裏表紙	
アフターサービスについて		
お問い合わせ先		

製造 発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
<https://www.rhythm.co.jp>

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

- 図記号の説明 ○ は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
● は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

-  誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届か所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

-  電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
- 電池に傷をつけない。
 - 電池を分解しない。
 - 電池をショートさせない。
 - 電池を充電しない。
 - 電池を加熱しない。
 - 電池を火の中に入れない。

-  梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

-  電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
 - 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

-  電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

-  強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

-  浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

-  めれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

-  分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

-  下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。● ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電波時計について

■電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

■標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(<http://jjy.nict.go.jp>)

※アドレスは変更になる場合があります。

■標準電波の送信停止について

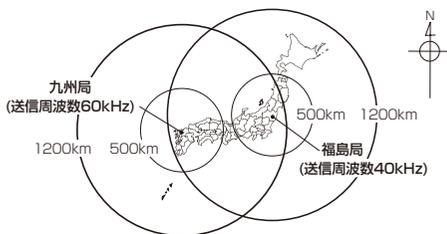
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

■海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

■電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

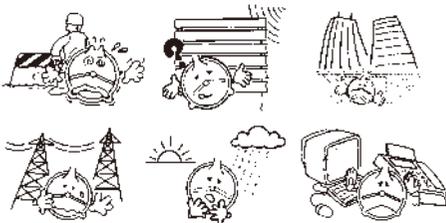


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

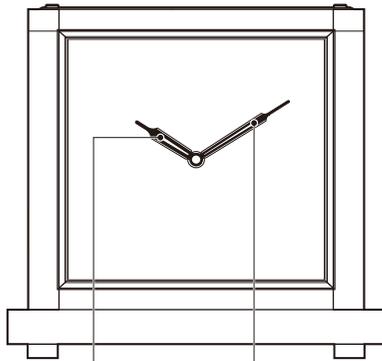
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



3. 各部の名称と役割

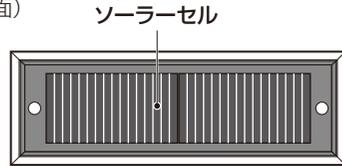
◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)



時針(短い針) 分針(長い針)

(上面)

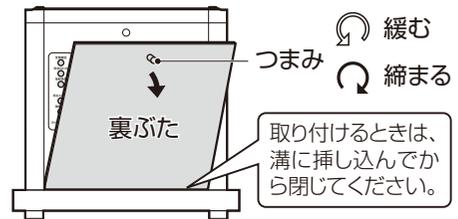


ソーラーセル

裏ぶたの取り扱い

取り外すときは、つまみを緩めてから手前に引く。

取り付けるときは、裏ぶたを下部の溝に押し込んでから閉じて、つまみを締める。



緩む

つまみ

締まる

取り付けるときは、溝に押し込んでから閉じてください。

(操作部詳細)



受信確認ボタン

受信結果を確認表示ランプで表示します。

受信成功:5秒間緑色点灯
受信失敗:5回緑色点滅

時刻合わせボタン

不用意に押すと時刻が変わります。
手で時刻合わせを行うときに使
用します。

強制受信ボタン

電波の受信を開始します。スター
トスイッチをONにした直後また
は設置場所を変えた場合などに
押します。

明るさテストボタン

ボタンを押している間、確認表示ラ
ンプで明るさの適合性を表示します。

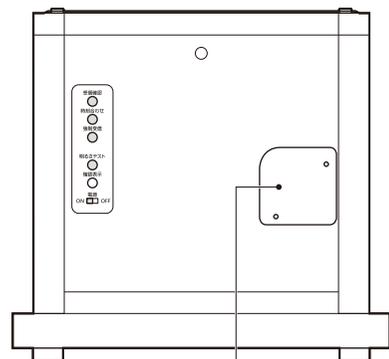
確認表示ランプ

明るさテストの結果と受信結果を
表示します。

スタートスイッチ ONで針が動き出します。

※スタートスイッチは、電源のON/OFFスイッチ
ではありません。OFFにすると、**針の動きを停
止させて、蓄電池の消費を抑えます。**その間も
バックアップ電池により時刻を保持し続けます。

(裏面) ※裏ぶたを取り外した状態。



電池ぶた

バックアップ電池収納

4. ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**（手動での時刻合わせ）**（P.9）を参照してください。

- ◎この時計は時刻を合わせて出荷しています。
- ◎窓際など明るく、電波の受信しやすい所でお使いください。
- ◎「5. ソーラーによる発電と明るさテストについて」(P.6)をお読みの上、設置場所の明るさを事前に確認してください。

① スタートスイッチをONにする

② 強制受信ボタンを押す……「7. 受信の流れとサーチ機能の使いかた」(P.8) 参照
確認表示ランプが点灯して受信を開始します。

針は早送りで動き、およそ3分で時刻を表示します。

※早送りの途中で一時停止することがあります。

※受信中は、ボタン操作をしないでください。

③ 受信開始から16分後に、受信確認ボタンを押して受信結果を確認する

受信成功: 5秒間緑色点灯

受信失敗: 5回緑色点滅

受信に失敗したときは、電波サーチ機能で受信する所を探るか、「8. 標準電波を受信できない場合」(P.9)を参照してください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

※確認表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

設置について

時計の転倒や落下による時計や家具などの破損やけがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところに設置してください。大理石を使用しているものは重量が有りますので、お取り扱いにはご注意ください。

5. ソーラーによる発電と明るさテストについて

この時計は、明るいところでは光の発電を行い、余った電力を蓄電池に充電して動力源としています。安定して動かすために一定以上の明るさと受光時間を必要とします。

明るさテストで設置場所が使用環境に適しているか確認できます。条件を満足するところでご使用ください。

■設置場所の条件

ソーラーセル面に200Lx以上の照度があり、1日に8時間以上受光するところ。

○リビングルームなど日中外光が入り、夜も照明時間が長いところが望ましいです。逆にベットルームなど照明時間が短いところでは光の発電が十分行えないために不向きです。

■明るさテストによる確認方法

現時刻表示をしてから、設置する場所に置いて、「明るさテスト」ボタンを押す。

○確認表示ランプの状態

緑色の点滅:200Lx以上 適合 赤色の点滅:200Lx未満 不適合

【参考】

光による発電量は照度(明るさ)と受光時間によって影響を受けます。

○発電の総量は簡易的に(照度)×(受光時間)であらわすことができます。1日の発電の総量が1600になれば1日分の電力を確保できます。余った電力は内蔵の蓄電池に蓄積されます。

○発電の時間は連続している必要はありません。例えば、日中300Lxの明るさで4時間(発電量1200)、夕方以降200Lxで2時間(発電量400)受光した場合の発電総量は1600となり、必要な電力を確保できます。

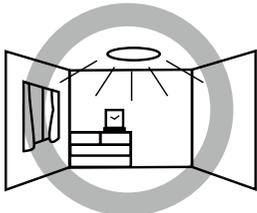
○室内の明るさは1日の間に変化します。また季節によっても変動しますのでときどき「明るさテスト」を行い、明るさと受光時間が条件を満足するかを確認してください。

※時計に直射日光を当てないでください。ソーラーセルの発電効率が低下したり、外装部材の変色や劣化を招きます。

※照度とは照らされた場所の明るさのことで、単位はLx(ルクス)です。

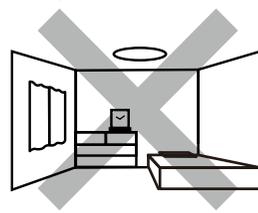
明るさテストで緑色の点滅。

日中、外光が入り夜間も照明がされるリビングなど。



明るさテストで赤色の点滅。

日中もカーテンを閉め切った部屋や照明時間が短いベットルームなど。



※時計上面を照明しても、明るさや照明されている時間が不足すると十分な発電ができません。

Q 充電できない環境で何日動きますか

A 蓄電池にフル充電した状態で、暗いところではおよそ1ヵ月間動きます。

充電が十分でない場合は、短い期間で停止してしまうことがありますので、旅行などで部屋が暗いままになる場合は、**スタートスイッチをOFFにし、帰宅後スタートスイッチをONにしてください。**

※スタートスイッチは、電源のON/OFFスイッチではありません。OFFにすると、**針の動きを停止させて、蓄電池の消費を抑えます。**その間もバックアップ電池により時刻を保持し続けます。**長い期間、光の発電がされない状態や、スタートスイッチをOFFのまま放置するとバックアップ電池の消費を早めます。**

6. バックアップ電池の役割

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、バックアップ電池により時刻を保持しています。スタートスイッチをONにして強制受信ボタンを押すと、およそ3分以内に時刻を表示します。光で発電できず、蓄電もされていないときには、針の動きを停止しますが、バックアップ電池により時刻は保持し続けます。

※光の発電と蓄電池により時刻表示をしているときには、バックアップ電池を使いません。

危険 死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容



必ず守る

小さなお子様の手の届く所に置かない

ボタン電池やコイン電池を飲み込むと短時間で化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。

ボタン電池やコイン電池は絶対に乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一、飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。

バックアップ電池の寿命

バックアップ電池は、使用状況により寿命が異なります。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- 一定量の明るさの元で使用していても、最長10年で交換する。

電池の種類について

本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。

電池の寿命について

この時計は、すぐにご使用いただけるように、バックアップ電池を組み込んで出荷していますので、お客様のお手元に届くまでに電池寿命が短くなる場合があります。

バックアップ電池の交換手順

※新しいCR2032を1個ご用意ください。

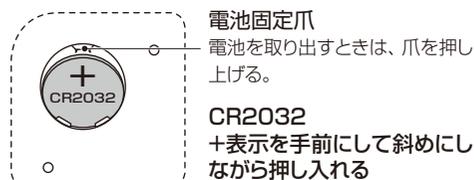
- ①裏ぶたを開けてください。
 - ②スタートスイッチをOFFにします。
 - ③電池ぶたのネジを緩め、電池ぶたを取り外します。
 - ④電池固定爪を押し上げて、電池を取り出します。
 - ⑤新しい電池の+表示を手前に向けて、電池固定爪が「カチ」とするまで、斜めにしなが押し入れます。
 - ⑥電池ぶたのネジを締め、電池ぶたを取り付けます。
 - ⑦スタートスイッチをONにします。
 - ⑧裏ぶたを閉じます。
 - ⑨窓際など電波を受信しやすい所で強制受信ボタンを押して、標準電波の受信を開始させてください。
- *指定以外の電池を使用しないでください。

電池ぶたを取り外すとき
電池ぶたのネジ2カ所をプラスドライバーで取り外す。

電池ぶたを取り付けるとき
電池ぶたのネジ2カ所をプラスドライバーで締めつける。



プラスドライバー
⌚ 緩む ⌚ 締まる

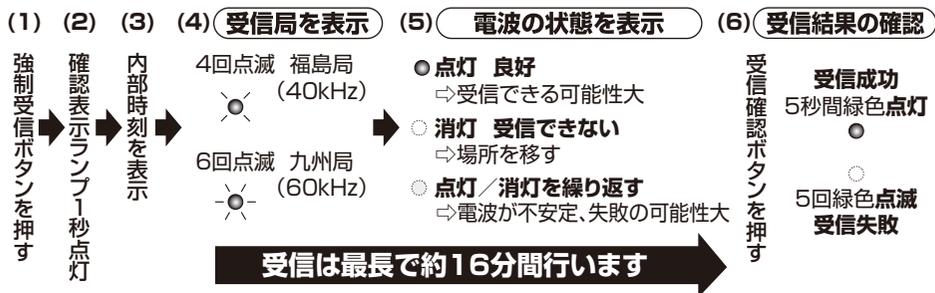


※電池ぶたを取り外した状態

ご注意

- ネジを失くさないようにしてください。
- ネジや電池の誤飲を防ぐために、小さなお子様がいらっしゃる所では行わないでください。

7. 受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた……………受信しやすい所を探すには

- ①窓際やベランダで (5) まで行い、確認表示ランプが点灯していることを確認します。
確認表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
- ②時計を設置したい所に移動して、受信状態を確認表示ランプで見ます。
消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

8. 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ……電波を受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

操作

時刻合わせボタンを操作するときには、分針が10秒に1回動いているときに操作してください。

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。

時刻合わせボタンを離れたときにゼロ秒に設定されます。

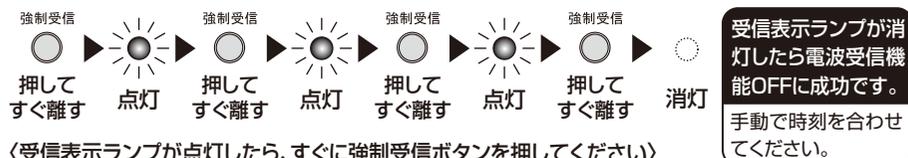
9. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクオーツ精度になります。

■ 電波受信機能をOFFにするには(標準電波を受信しない)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作をやり直してください。

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。



〈受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください〉

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

※電池を取り出しても設定を長い時間保持しています。

■ 電波受信機能をONにするには(標準電波を受信する)

工場出荷するときは電波受信機能がONになっています。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



10. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 大理石を使用しているものは、ジュースなどの酸性液が付着すると損傷を与えます。付着したときは、からぶきしてよく落としてください。

※木や大理石などの天然素材を使用しているものは、木目や大理石の模様、色合いなどが商品ごとに異なることがあります。また、経年劣化により色合いや艶が変化することがあります。

11. 電池・製品の廃棄について

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

12. おもな製品仕様

時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	時針／分針	目盛りに対して±3度
	標準電波を受信しない場合	平均月差	±20秒以内
		温度が5～35℃のときのクォーツ精度	
使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと		
使用電源	光発電	アモルファス	ソーラーセル 室内用
	蓄電池(二次電池)	リチウムコイン電池 ML 2016	1個(内蔵)
	バックアップ電池	リチウムコイン電池 CR 2032	1個
蓄電池駆動期間	フル充電された蓄電池のみで 約1ヵ月(真っ暗な環境下)		
電波受信機能	標準電波を受信して時刻を修正		
受信局	福島局、九州局自動選択		
受信ON/OFF	あり		
受信回数	最少 1回/2日	最多 3回/1日	
受信開始時刻	2時16分、3時16分、4時16分、14時16分、15時16分、16時16分		
	*受信状態により受信時刻、回数に変化		
防滴防塵機能	なし		

※付属の電池は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱してありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試し用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の電池をお求めください。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 リチウムコイン電池 ML2016 1個、 CR2032(お試し用) 1個

*電池は時計に組み込まれています。

取扱説明書・保証書 本書

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。無償で修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

※印は販売店記入

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

※品名・型番
※保証期間
お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様ご氏名 様
ご住所

TEL () -

※販売店印(住所、店舗名、電話番号)

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化（ケースなどの小キズ）。
- 電池の交換。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 お客様相談室 **0120-557-005** (フリーダイヤル)

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)をお伝えください。例 4RY000 (Y2102)